



第4回 日本医療安全学会学術総会

プログラム集

医療安全ネットワークの進化

— 医療安全第2世代を迎えて —

事前申し込みを締め切りました。

当日受付でも参加申し込みが可能です。

当日申込者へは電子版抄録のホームページをお教えします。

なお、印字版抄録を当日に購入可能です。

(電子版抄録集のホームページアドレスの通知)

事前登録をされ、かつ参加費振り込み済みの方: 事前に電子メールにてお知らせします。

事前登録をされて参加費当日支払いの方: 当日受付でお知らせします。

(印字版抄録集の配布)

購読希望者へ当日受付にてお渡しします。

会期: 2018年2月17日(土)～18日(日)

場所: 東京大学本郷キャンパス (東京都文京区本郷 7-3-1)

会長: 深山 正久 (東京大学大学院医学研究科人体病理学・病理診断学教授、日本病理学会理事長)

深山 治久 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科麻醉・生体管理学分野教授)

佐和 貞治 (京都府立医科大学附属病院副院長、医療安全管理部部長・麻酔科学教室教授・中央手術部部長)

副総会長: 大谷 道輝 (佐々木研究所附属杏雲堂病院医薬品安全管理者)

金子 恵美子 (東京女子医科大学東医療センター医療安全管理部、看護副部長)

第4回日本医療安全学会学術総会

会期: 2018年2月17日(土)～18日(日)

場所: 東京大学本郷キャンパス (東京都文京区本郷 7-3-1)

TEL: 03-3812-2111

会長: 深山 正久 (東京大学大学院医学研究科人体病理学・病理診断学教授、日本病理学会理事長)

深山 治久 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科麻醉・生体管理学分野教授)

佐和 貞治 (京都府立医科大学附属病院副院長、医療安全管理部部長・麻酔科学教室教授・中央手術部部長)

副総会長: 大谷 道輝 (佐々木研究所附属杏雲堂病院医薬品安全管理者)

金子 恵美子 (東京女子医科大学東医療センター医療安全管理部、看護副部長)

統括: 酒井 亮二 (日本医療安全学会理事長)

プログラム委員会:

医科医療安全分野、臨床医学安全分野、歯科医療安全分野、医療機器安全分野、

医薬品安全分野、看護安全分野、ならびにその他の関連分野、における理事・代議員、他

組織委員会: 正副会長、全理事、全代議員、その他

主催

一般社団法人 日本医療安全学会

後援

厚生労働省、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、日本看護協会、日本内科学会、日本病理学会、日本麻酔科学会、日本産婦人科学会、日本産婦人科医会、日本癌学会、日本老年医学会、日本リハビリテーション医学会、日本神経学会、日本小児科医会、日本臨床腫瘍学会、日本臨床心理学会、日本臨床工学技士会、日本診療放射線技師会、日本歯科衛生士学会、日本緩和医療学会、日本ケアマネージメント学会、日本災害看護学会、日本新生児看護学会、日本産業看護学会、日本公衆衛生学会、日本衛生学会、日本学校保健学会、その他

連絡先

日本医療安全学会本部

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102

TEL/FAX: 03-3817-6770 Email: 4amt@jpscs.org

ご挨拶

共同総会長

東京大学大学院医学研究科人体病理学・病理診断学教授、日本病理学会理事長
深山 正久



皆さんこんにちは。「医療安全ネットワークの進化」をテーマに、第4回医療安全学会学術総会を開催します。ネットワークを進化させる原動力は何と言っても「ひと」です。そして情報を交換すること、それが出発点です。是非、学術集会に参加し、活発な意見交換をお願いします。

私が医療安全を正面に据えて考えるようになったのは、平成17年の厚生労働省「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」がきっかけです。この事業は、平成11年の都立広尾病院事件の後の「異常死届出」「医師法21条」をめぐって医療の現場でおきた混乱を收拾すべく開始されました。私はモデル事業における検証

に、病理医として解剖調査、カンファランスを通じて係ってきましたが、病院の中で「予期しない死亡」があつた場合の医療の検証過程、病理解剖、臨床病理カンファランス（CPC）の意義を見直す契機になりました。モデル事業の当初から、届出と報告書という「入り口」と「出口」のところに議論が集中したのはやむを得ないと思いますが、錯綜する議論の中で、「患者・医療者の相互理解」を促進し育成する文化、「相互検証学」を築くことの必要性を強く感じました。

私たち医療者が日常的に相互に検証していることを一般の方々に是非とも知りていただきたい。病理解剖は単に解剖するということではなく、医療者の間で検討するために行うものであり、CPCを通じた検証活動の一つなのだということを語りかけたい。このように考え、「医療安全学会」に参加するようになりました。

この学会の場で、多職種の医療者、それを取り巻く法律関係者、患者団体の方々、さらに、医療機器、製薬、安全工学など、自分とは違った視野、視角で「医療安全」を考えている方たちと出会うことができました。学術集会を一つの結節点、ノードとして、さらにネットワークを活用し、「医療安全」という学際的なフィールドを広げ、深めていこうではありませんか。

共同総会長

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科麻醉・生体管理学分野教授
深山 治久



このたび、2018年2月に開かれる第4回日本医療安全学会学術総会の共同総会長をさせていただくにあたり、ひとこと御挨拶を申し上げます。私は、大学に所属する歯科医師ですが、歯科診療を安全かつ確実に行うための全身麻酔、鎮静、モニタリングに関わり、それらの教育、研究ならびに臨床に携わってきました。当然のことながら、本学会の目的にあるような医療安全にも目を向けており、大学病院の医療安全管理室室長と医療機器安全管理責任者としても業務してまいりました。歯科医療は、ご存知のように、多種にわたる小さな機械・器具を使用する機会が多く、インシデントが起きやすいと言えます。さらに、それらを気道の入口である口腔で使うので、インシデントが発生した際には重大な事態になる可能性があります。また、多くの歯科診療は、小規模な開業歯科医院で行われていることも医療安全上からは特筆すべきことと考えられます。加えて、高齢社会の到来に伴い、従来の歯科診療に加えて、現状を維持するための口腔ケアや口から食事を摂らせる摂食・嚥下指導が注目され、歯科衛生士だけでなく、医師、看護師、介護員（ヘルパー）、栄養士をはじめとする多職種との連携が必要になっています。ところが、「他」職種との接点がなかなか得にくいのが現状ではないかと推察いたします。本学会がその突破口となるよう、医療の一端を担う歯科診療に従事する立場から本学術総会が実りのあるものになるように協力させていただく所存です。どうかよろしくお願いいたします。

共同総会長

京都府立医科大学附属病院副院長、医療安全管理部部長
京都府立医科大学大学院医学研究科麻酔科学教授
日本麻酔科学会理事
佐和 貞治



このたび、第4回日本医療安全学会学術総会の共同総会長を深山正久、深山治久先生とともに、担当させていただくことになりました。一言、御挨拶を申し上げます。私の臨床専門分野は麻酔科学です。これまで麻酔科医という立場で、手術室における医療安全に関わってきました。日本では医療元年といわれる1999年の患者取り違え事件以来、様々な大きな医療事故の多くが手術室や集中治療室という閉鎖性の高い空間の中で起こってきました。患者誤認防止や手術部位誤認防止など含めて、医療安全を高める多くの取り組みがこれまで行われてきました。それにもかかわらず、最近ではまた新たな形で大きな医療事故が報告されるに至っています。そのために2015年には医療法の改訂に伴う医療事故調査制度が開始され、また2016年には特定機能病院の承認要件見直しのきっかけとなった高難度新規医療技術導入や薬剤適応外使用に関する医療事故から、病院の医療安全に対するガバナンス自体を高める医療法施行規則の改訂が施行に至りました。医療事故調査制度開始までの医療安全への取り組みを「医療安全version 1」とするならば、我々はいま「医療安全version 2」に突入したのではないでしょうか。コンピューター技術や人間工学をフルに導入してレベルの高い医療安全システムを構築し、より安心な医療を提供していくために、多くの方々にご参加いただき、意見を交換することで第4回日本医療安全学会学術総会が実りあるものとなるように努めたいと思っております。

学会の趣旨

本学会は、医療現場が日常抱えている安全問題を解決することを目的とし、特定の固定観念にとらわれず、幅広く様々な状況へ柔軟に対応し、実践的・現場に即した安全文化の構築を目指します。

この目的を達成するために、それぞれの安全管理責任者が本学会の理事・代議員として医療における各種安全分野を編成し、多職種横断的ならびに学際的研究の2つの視点から活動を展開しています。

以上から、本学会のキーワードは現場的、実践的、柔軟性、多職種横断および学際研究です。このような独特な特徴を持つ本学会は、皆様が現場で抱えている安全問題の共通部分について多職種によって問題意識と解決策を共有・共感し、同時に各専門分野での安全向上に努め、日々に高度に発達していく巨大かつ複雑な医療現場での安全文化を構築します。

(対象者)

医療従事者、統括医療安全管理者、専従医療安全管理者、専任医療安全管理者、医療リスクマネージャー、医療クライスマネージャー、歯科医療安全管理者、医療機器安全管理者、医薬品安全管理者、その他の医療福祉関係者全般、安全科学・工学関係者、リスク科学関係者、危機科学関係者、法行政関係者、情報関係者、その他医療職の方、医療系の学生。

参加費

参加費には抄録集は含まれません。	日本医療安全学会の会員	学部生	その他
事前申込参加費（～1月10日。非課税。懇親会費別）	9千円	4千円	1万2千円
当日申込参加費（非課税。懇親会費別）	1万1千円	6千円	1万4千円
印刷抄録集（税込み）	3千円	3千円	3千円
懇親会（2月17日午後6時～8時、税込）	5千円	5千円	5千円

事前申込振込先

ホンゴウ

銀行支店名: みずほ銀行 本郷支店

支店番号: 075

口座番号: 普通 4056789

ダイ3カイ JPSCS ソウカイ

口座名義: 第4回JPSCS総会

大学院生は一般扱いです。

申込者には電子版抄録集をご利用できますので、携帯端末(スマートフォンなど)を持参してください。
ただし、会場には無料WIFI装置はございません。
印刷抄録集を購入希望の際には当日受付で会計ください。

(ご注意) キャンセルの際、参加費は返却されません。

代わりの方が参加できますので、申込者が捺印した変更届を当日にご持参ください。（様式は任意）

(懇親会)

日 時: 2018年2月17日(土)午後6時～8時

会 場: ホテル フォレスト本郷 1階 東大正門前から徒歩数分

参加費: 5千円 (税込)

運営組織

会長: 深山 正久 (東京大学大学院医学研究科人体病理学・病理診断学教授、日本病理学会理事長)
深山 治久 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科麻酔・生体管理学分野教授)
佐和 貞治 (京都府立医科大学附属病院副院長、医療安全管理部部長・麻酔科学教室教授・中央手術部部長)
副総会長: 大谷 道輝 (佐々木研究所附属杏雲堂病院医薬品安全管理者)
金子 恵美子 (東京女子医科大学東医療センター医療安全管理部、看護副部長)
統括: 酒井 亮二 (日本医療安全学会理事長)

プログラム委員会

(医科医療安全分野)

秋野 裕信、大城 孟、大徳 和之、大野 和子、海渡 健、金渕一雄、楠本 茂雅、小林 肇、酒井 亮二、
佐和 貞治、東條 有伸、長尾 能雅、中島 勉、長村 文孝、辰巳 陽一、手塚 則明、鳥谷部 真一、
長谷川 奉延、廣井 透雄、福成 信博、星 真哉、細野 治、松村 由美、水本 一弘、三井 良之、宮崎 浩彰、
宮田 哲郎、山本 直人、安田 あゆ子

(臨床医学安全分野)

池田 洋、太田 美智男、小野 稔、甲斐 久史、河田 健司、黒田 誠、坂井 信幸、佐々木 肇、杉原 正子、
高井 雄二郎、富永 英一郎、永山 正雄、深山 正久、福田 幾夫、粉川 敦史、矢形 寛

(歯科医療安全分野)

大渡 凡人、萩原 芳幸、佐藤 慶太、酒巻 裕之、塙田 真、白川 哲夫、深山 治久、升谷 滋行、宮本 智行

(看護安全分野)

金子 恵美子、衣川 さえ子、新村 美佐香、土屋 和子、西隈 菜穂子、藤井 千枝子、三上 久美子

(医薬品安全分野)

生島 五郎、井手口 直子、伊藤 裕康、大谷 道輝、佐藤 光利、坂口 眞弓、下堂菌 権洋、菅野 浩、
清野 敏一、夏目 義明、橋田 亨、本多 秀俊、百 賢二

(医療機器安全)

青木 郁香、石井 宣大、許 俊銳、酒井 基広、鈴木 聰、高倉 照彦、田仲 浩平、山根 隆志、
真下 泰、増田 豊

(その他の関連分野)

荒木 登茂子、出江 紳一、井上 清成、大滝 恭弘、岡田 有策、勝村 久司、北野 達也、木下 正一郎、
小松原 明哲、鈴木 聰、瀧本 穎之、野坂 佳生、旗手 俊彦、藤本 隆宏、目黒 公朗、森川 博之

報道機関、出版社の取材記者の方へ

参加費は無料で、事前申し込みは一切不要です。事前の問い合わせは不要です。

取材記者の方は全員とも当日受付にて名刺をお渡しください。

記者であることがわかるよう、黄色の腕章を持参して、左上腕に常時つけてください。

抄録集(電子版)をお知らせしますので、携帯端末(スマートフォンなど)を持参してください。

抄録集(印字版)をご希望の際には、1部3千円にて当日購入いただけます。

本学術総会の開催について貴社を通じて広く社会へ広報していただけますと幸いです。

展示企業の方へ

(展示場所)

法文1号館1階ロビーならびに2階ロビーです。

各企業の展示は学会から指定された場所を使用してください。配置表を別送します。

(展示時間) 8:00-17:00

(資材の事前搬入)

2月16日(金)16:00-17:00。 法文1号館1階展示スペースにて保管いただけます。

(タクシーでの搬入の方法)

東大本郷キャンパス正門で下車、 徒歩5分

(自家用車での搬入の方法)

東大構内へは竜岡門からお入りください。

竜岡門からの広い道路を直進→

道路右側の東大病院前をさらに直進→

バスロータリーを直進すると、駐車ゲートがある→

ゲートを通過後、道が左に曲がる→

曲がり終えて、上り坂を直進し、坂を登りきり停車。→

左側の建物が法文1号館。

東大構内では無料駐車場はありません。

30分まで無料・以降 200円/20分、24時間ごと最大 3,000円。費用は自費負担。

(貸出物) 以下ののみです。

テーブル(幅 1800mm×奥行 900mm) 1台、椅子 1脚

電源: 壁コンセントがあります。上記の配置表に明記します。

利用される場合は10メートル電源コード延長電源コードと電源タップを持参してください。

その他(バックパネル等)はご自身ご用意してください。

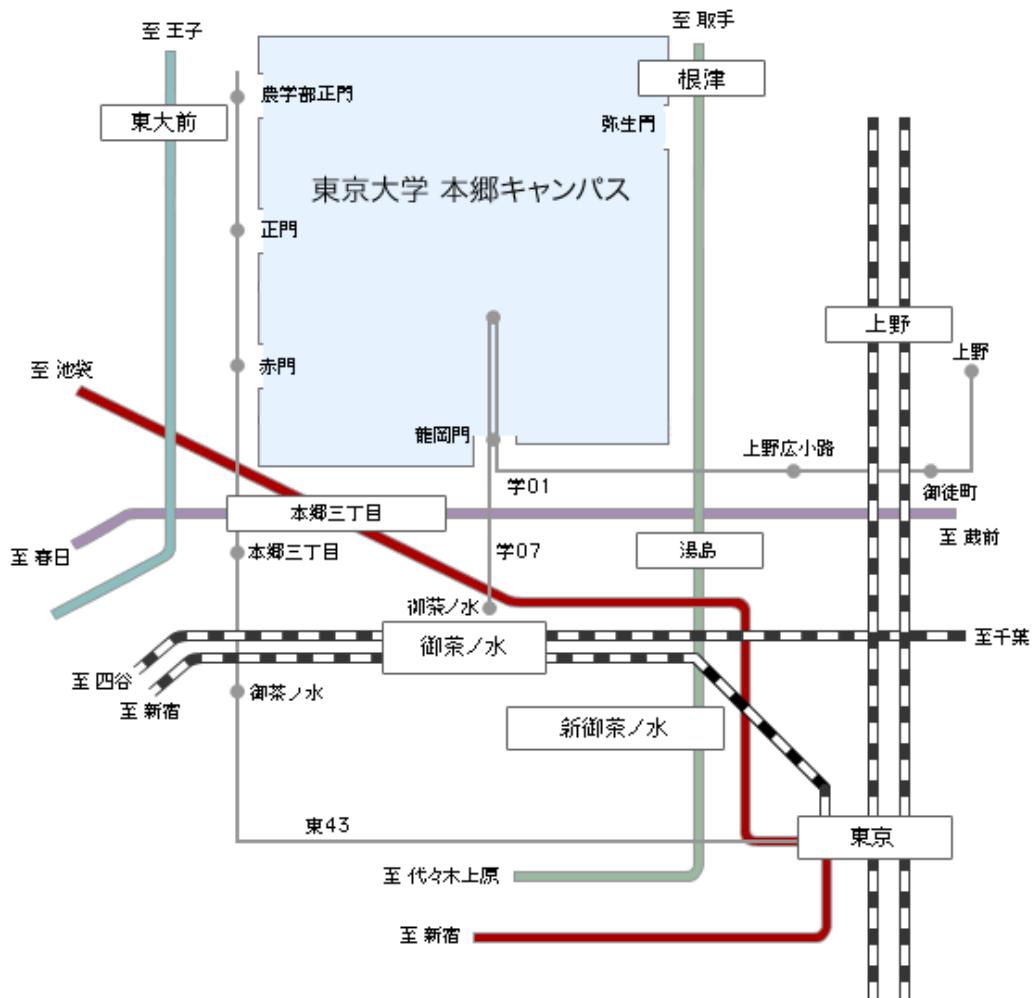
(昼食)

徒歩1分にある安田講堂前広場の地下に学食と生協があります。費用は自費負担。

(インターネット)

会場にはWIFI装置はありません。

交通案内



最寄り駅	所要時間
本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線）	徒歩 8 分
本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線）	徒歩 6 分
湯島駅又は根津駅（地下鉄千代田線）	徒歩 8 分
東大前駅（地下鉄南北線）	徒歩 1 分
春日駅（地下鉄三田線）	徒歩 10 分

会場案内

(2月17日(土))

第1会場	法文1号館1階	ロビー	: 受付、企業展示、
第2会場	法文1号館2階	ロビー	: 企業展示
第3会場	法文1号館1階	21番講堂:	講演、定例理事会、定例代議員大会
第4会場	法文1号館1階	22番講堂:	講演
第5会場	法文1号館2階	25番講堂:	講演
第6会場	法文1号館3階	26番講堂:	講演
第7会場	法文2号館2階	31番講堂:	講演
第8会場	法文1号館3階	27番講堂:	口演(一般演題発表)
第9会場	法文2号館2階	ロビー	: ポスター発表、企業展示
第10会場	ホテル フォレスト本郷1階	懇親会	
第11会場	医学部1号館1階小講義室:	自由集会室	(自由にご利用ください)
第12会場	医学部1号館3階大講義室:	自由集会室	(自由にご利用ください)
第13会場	医学部2号館本館1階小講義室:	発表者控え室	(自由にご利用ください)
第14会場	医学部2号館本館3階大講義室:	談話室	(自由にご利用ください)

(2月18日(日))

第1会場	法文1号館1階	ロビー	: 受付、企業展示、
第2会場	法文1号館2階	ロビー	: 企業展示
第3会場	法文1号館1階	21番講堂:	講演
第4会場	法文1号館1階	22番講堂:	講演
第5会場	法文1号館2階	25番講堂:	講演
第6会場	法文1号館3階	26番講堂:	講演
第7会場	法文2号館2階	31番講堂:	講演
第8会場	法文1号館3階	27番講堂:	口演(一般演題発表)
第9会場	法文2号館2階	ロビー	: ポスター発表、企業展示
第11会場	医学部1号館1階小講義室:	自由集会室	(自由にご利用ください)
第12会場	医学部1号館3階大講義室:	自由集会室	(自由にご利用ください)
第13会場	医学部2号館本館1階小講義室:	発表者控え室	(自由にご利用ください)
第14会場	医学部2号館本館3階大講義室:	談話室	(自由にご利用ください)

受付開始: 両日とも午前8時。

会場ではインターネットのWIFI装置がございません。

一般演題(口演)は1題10分(質疑時間を含む)

一般演題(ポスター)の発表者は毎日毎に定められた時間帯にポスター会場(第8会場)で質疑応答をしてください。

一般演題から審査専攻される「医療安全賞」の賞状は、会議後2～3か月後にお知らせします。

定例理事会: 2018年2月17日(土) 8:20～8:50

(第3会場) 東京大学法文1号館1階21番講堂、東大正門に入る

登記済みの理事が参加できます。

定例代議員大会: 2018年2月17日(土) 12:10～12:40

(第3会場) 東京大学法文1号館1階21番講堂、東大正門に入る

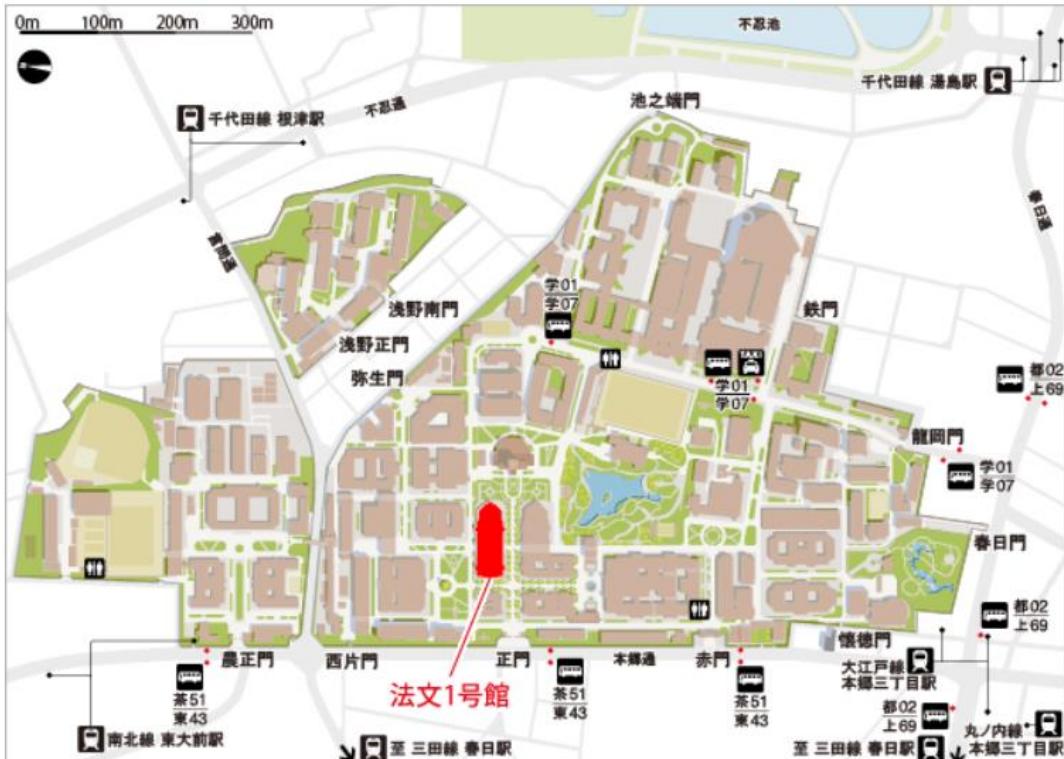
代議員大会へは理事の先生もご参加をお願いします。

懇親会: 2018年2月17日(土) 18:00～20:00

(第10会場) ホテル フォレスト本郷1階 東大正門前から徒歩数分

会場地図

建物内部での飲食・喫煙禁止



(飲食について)

東大安田講堂地下食堂(法文1号館/2号館から徒歩2分)は改修工事中です。

東大病院入院A棟にはいくつかレストランがあります。

学内レストラン地図 <http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/restaurantmap.pdf>

東大正門～本郷三丁目交差点付近に多数の飲食店があります。

後楽園の東京ドームシティにも多数のレストランがあります。(タクシー5分、徒歩15分)

会場での飲食は一切禁止されています。

会場見取り図

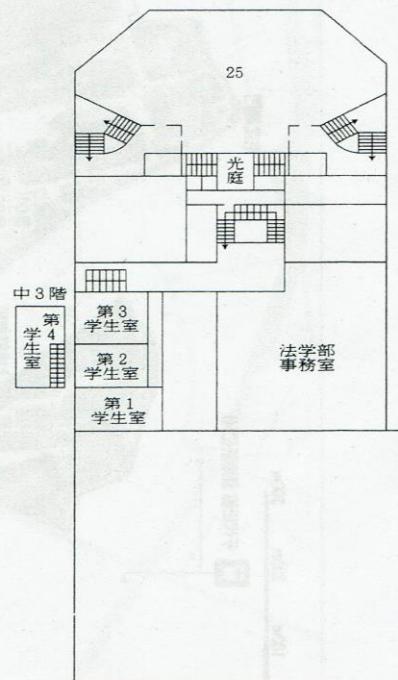
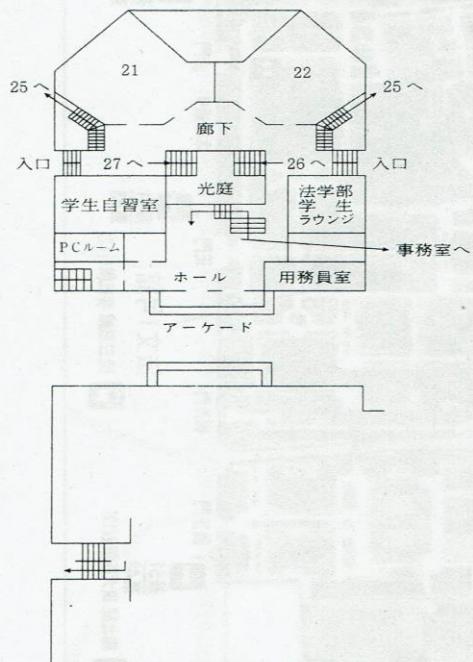
建物内部での飲食・喫煙禁止

法 学 部 教 室 案 内

法文1号館

1 階

2 階

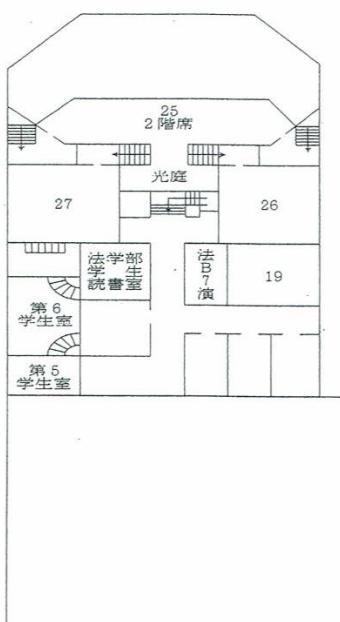


建物内部での飲食・喫煙禁止

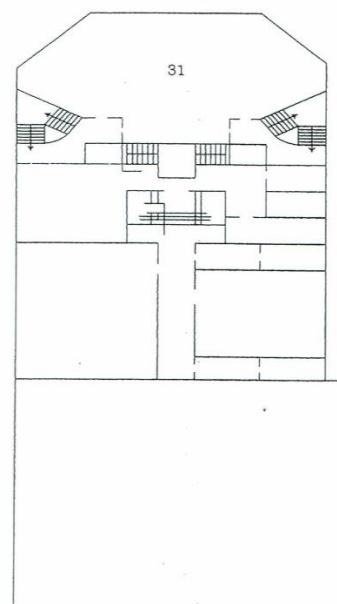
法文1号館

法文2号館

3階



2階



懇親会

2月17日(土)午後6時~8時

ホテル フォーレスト本郷 1階

<https://www.forest-hongo.com/access/>

〒113-0033 東京都文京区本郷 6-16-4

TEL : 03-3813-4408

東大正門前の井上書店を右折、130m直進し右手が会場ホテルです。



予備の会議室

談話、口演準備、会合等にご利用ください。総会参加者へ無料にて解放します。予約不要。

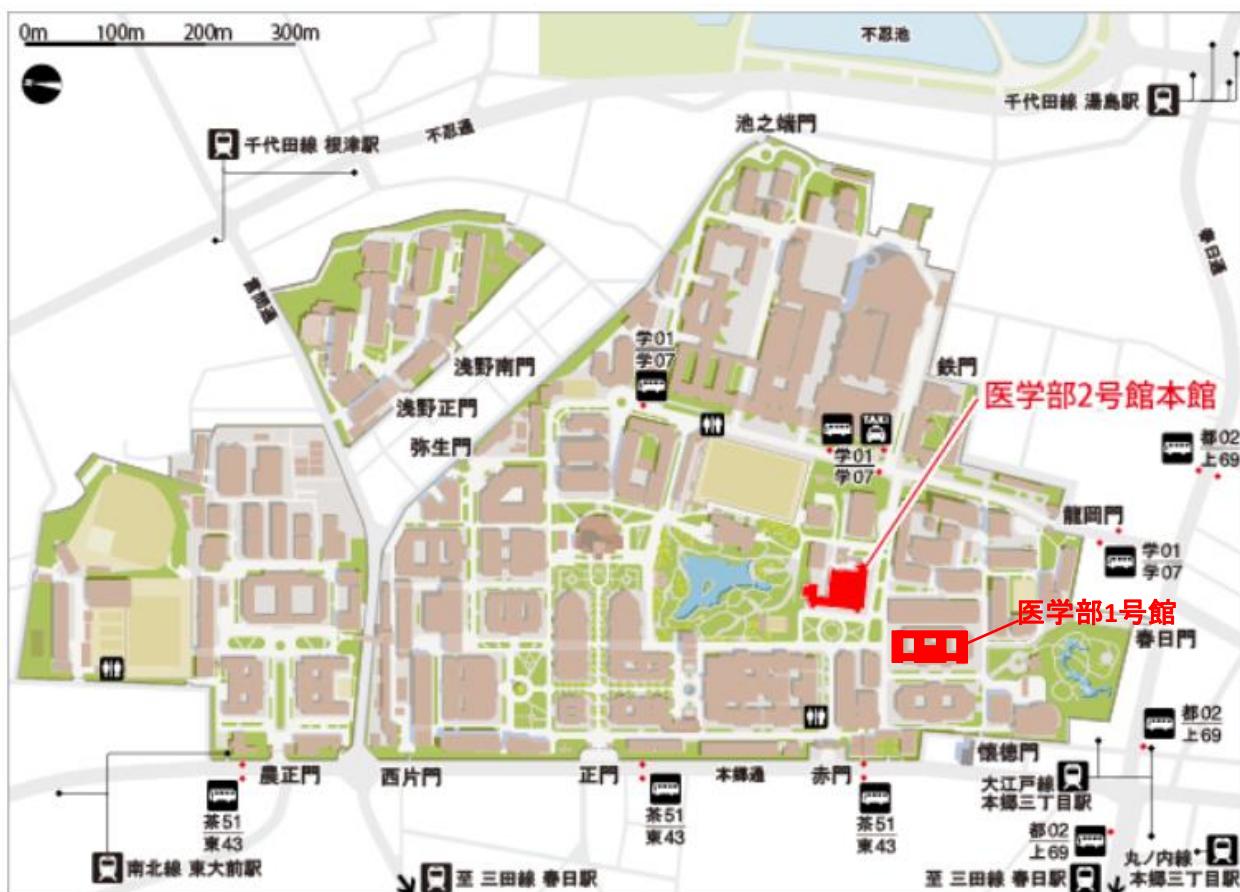
利用時間: 両日とも 9:00-17:00

場所: 医学部1号館1階小講義室(自由集会用)
医学部1号館3階大講義室(自由集会用)
医学部2号館本館1階小講義室(発表者控え室)
医学部2号館本館3階大講義室(談話室)

※ 法文講堂から徒歩5分程度です。

1号館の利用者は当日受付にて利用を事前に申し出てください。

上記の時間帯には開錠していますが、これらスペースには係員はいません。マイク・スクリーン使用の場合は、これらの資材は設置してありますので、ご自身で設置してください。(自主運営)
建物内部での飲食・喫煙禁止。



座長・オルガナイザー・発表者の皆様へ

(座長・オルガナイザーの先生方へ)

ご担当のセッションの開催会場へ、セッション開始時間の30分前までにご入場ください。

(口演の方法)

発表者は講演時間の30分前までに、各講演会場にご入室ください。

PC(Windows10ないしWindows7)一台をご利用できます。

(マッキントッシュPCをご持参の場合: モニターとの接続ケーブルをご持参ください。)

パワーポイント用データ保管のUSBメモリーをご持参ください。USBメモリーをご自身でPCに装着したのち、ご自身でご操作ください。リモコン操作器具を用意いたします。

一般演題(口演)は1題10分(質疑時間2分を含む)です。

(ポスター発表の方法)

場所:(第9会場) 東京大学法文2号館2階ロビー

(ポスター掲示時間帯)

午前の部 10:00-13:00

午後の部 13:30-16:30

(ポスターでの発表者による説明時間)

午前の部 11:30-12:30

午後の部 15:30-16:30

一般演題(ポスター)の発表者は毎日毎に定められた時間帯に当該ポスター前にて質疑応答ください。

ポスター掲示板に演題番号を掲示しますので、当該番号のポスター板面をご使用ください。

掲示板に掲載可能なポスターはA1版縦長置き、縦列二枚までです。

用紙内の最上部にタイトルと発表者一覧を明記ください。

ポスター掲示用のスコッチテープをご持参ください。

ポスター掲示終了後、ポスターをすみやかにお持ち帰りください。掲示終了以降の掲示物は廃却します。

【日程】

一般演題以外のセッションは、シンポジウムまたはパネル討論会です。

	17日午前	17日午後	18日午前	18日午後
(第1会場) 法文1号館1階 ロビー	受付/企業展示	受付/企業展示	受付/企業展示	受付/企業展示
(第2会場) 法文1号館2階 ロビー	企業展示	企業展示	企業展示	企業展示
(第3会場) 法文1号館1階 21番講堂	医薬品パネル	特別講演 / ガバナンスパネル / マネージメントパネル	歯科安全パネル / 医療安全パネル / コミュニケーションパネル / 特別講演	(パネル)ガバナンス / (パネル)コミュニケーション
(第4会場) 法文1号館1階 22番講堂	臨床安全パネル	教育講演 / マネージメントパネル / 臨床安全パネル	ビジョンシンポジウム	教育講演 / 企業講演 / アセスメントパネル
(第5会場) 法文1号館2階 25番講堂	会長講演 / ネットワーク・シンポジウム / 教育講演	招聘講演 / 教育講演 / マネージメントパネル / 次期会長挨拶	会長講演 / 招聘講演	教育講演 / 政策シンポジウム / 招聘講演
(第6会場) 法文1号館3階 26番講堂	医療安全パネル / 医療機器安全パネル	医療機器安全パネル	ガバナンスパネル / マネージメンパネル	臨床安全パネル
(第7会場) 法文2号館2階 31番講堂	教育講演 / 看護安全パネル	看護安全パネル / マネージメントパネル	医薬品安全パネル	看護安全パネル
(第8会場) 法文1号館3階 27番講堂	一般演題(口演)	一般演題(口演)	一般演題(口演)	一般演題(口演)
(第9会場) 法文2号館2階 ロビー	一般演題(ポスター) / 企業展示	一般演題(ポスター) / 企業展示	一般演題(ポスター) / 企業展示	一般演題(ポスター) / 企業展示
(第10会場) ホテル フォレスト本郷1階	×	18:00- 懇親会	×	×
(第11会場) 医学部1号館1階小講義室	自由集会	自由集会	自由集会	自由集会
(第12会場) 医学部1号館1階大講義室	自由集会	自由集会	自由集会	自由集会
(第13会場) 医学部2号館1階小講義室	発表者控え	発表者控え	発表者控え	発表者控え
(第14会場) 医学部2号館1階大講義室	談話室	談話室	談話室	談話室

(プログラム概要)

会長講演	: 3題	招聘講演	: 6題
教育講演	: 8題	特別講演	: 5題
シンポジウム	: 3セッション	パネル討論会	: 29セッション
一般演題 (口演・ポスター)		企業展示	

学術発表プログラム

2018年2月17日(土)～18日(日) 東京大学本郷キャンパス

受付開始: 両日とも午前8時、第1会場（法文1号館1階ロビー）。
開演 : 両日とも午前9時

以下において◎付きのテーマは統括医療安全管理者向けプログラムですが、その他の方もご参加いただけます。

(第1日目プログラム)

2018年2月17日(土)

受付: 8時～18時、法文1号館1階ロビー

会場:

第1会場	法文1号館1階	ロビー	: 受付、企業展示
第2会場	法文1号館2階	ロビー	: 企業展示
第3会場	法文1号館1階	21番講堂	: 講演口演、定例理事会、定例代議員会、
第4会場	法文1号館1階	22番講堂	: 講演
第5会場	法文1号館2階	25番講堂	: 講演
第6会場	法文1号館3階	26番講堂	: 講演
第7会場	法文2号館2階	31番講堂	: 講演
第8会場	法文1号館3階	27番講堂	: 一般演題口演
第9会場	法文2号館2階	ロビー	: 一般演題ポスター発表、企業展示
第11会場	医学部1号館1階小講義室		: 自由集会室(自由にご利用ください)
第12会場	医学部1号館3階大講義室		: 自由集会室(自由にご利用ください)
第13会場	医学部2号館本館1階小講義室		: 発表者控え室(自由にご利用ください)
第14会場	医学部2号館本館3階大講義室		: 談話室(自由にご利用ください)

◎付きのプログラムは総括医療安全管理者も対象としています。

(第5会場) 2018年2月17日(土)午前
東京大学法文1号館2階25番講堂

PL01: 総会共同会長 講演 (その1, その2)

座長: 長谷川 奉延、慶應義塾大学付属病院医療安全管理部、小児科

9:00-9:30

深山 正久 (東京大学大学院医学研究科人体病理学・病理診断学教授、日本病理学会理事長)

9:30-10:00

佐和 貞治

(京都府立医科大学附属病院副院長、医療安全管理部部長・麻酔科学教室教授・中央手術部部長)

SN01: シンポジウム (1)

医療事故調査における地域ネットワークの作り方

◎10:00-11:00

(オルガナイザー) 松村 由美、京都大学付属病院医療安全管理部

田中 伸哉、北海道大学医学部 腫瘍病理学分野

松村 由美、京都大学付属病院医療安全管理部

ディスカッション

EL01: 教育講演

◎11:00-12:00 テーマ: チームで進める医療機器の安全管理

許 俊銳 (東京都健康長寿医療センター・センター長、東大病院元教授)

(第5会場) 2018年2月17日(土)午後
東京大学法文1号館2階25番講堂

IL01, IL02: 医療系団体の招聘講演 (1, 2)

座長 清野 敏一 (帝京平成大学薬学部、前東大病院)

◎13:00-13:45 テーマ: PMDAにおける医薬品・医療機器安全の最新情報

高橋 健中 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA) 安全第一部医療機器安全課調査専門員)

◎13:45-14:30 テーマ: PMDAで収集された副作用に関する最新情報

速水良恵 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA) 安全第二部調査専門員)

IL03: 医療系団体の招聘講演 (3)

座長: 深山 正久、東京大学大学院医学研究科人体病理学・病理診断学

◎14:30-15:15 テーマ: 医療事故死亡調査報告の概要

木村 壮介 (一般社団法人日本医療安全調査機構)

EL02: 教育講演

◎15:15-16:15 インシデントレポートを含む多様なデータ管理機能を用いた医療安全活動支援

岡田 有策 (慶應大学理工学部教授)

PN01: 医療安全リスクマネジメントパネル討論会

◎16:15-17:15 テーマ 医療の高度化に応じたリスク管理

座長: 松村 由美 (京都大学付属病院医療安全管理部)

医薬品リスク管理計画 (RMP: Risk Management Plan) に応じた各医療機関のリスク対策

松村 由美 (京都大学医療安全管理部)

高難度医療技術新規導入に見る新しい患者安全のかたち

辰巳 陽一 (近畿大学医療安全管理部)

ディスカッション

次期共同総会長挨拶

一人 10 分

17:15-17:45

松村 由美 (京都大学付属病院医療安全管理部教授)

岡田 有策 (慶應義塾大学理工学部教授)

衣川 さえ子 (東京医療保健大学東が丘・立川看護学部母性看護学教授)

(第3会場) 2018年2月17日(土)午前
東京大学法文1号館1階21番講堂

8:20-8:50 定例理事会

PN02: 医薬品安全パネル討論会

10:00-11:00 テーマ: 医薬品情報の活用と注意点
(オルガナイザー) 大谷 道輝、佐々木研究所附属杏雲堂病院

1. 「MRによる医薬品情報提供の医療安全に及ぼす問題点」
日本医科大学 武藏小杉病院 薬剤部 笠原英城
2. 「中規模病院における医薬品情報に基づいた後発医薬品の選び方」
杏雲堂病院 診療技術部 大谷道輝
3. 「保険薬局における医薬品情報の取り扱いと後発医薬品の選び方」
アイ調剤薬局 渋谷泰史

ディスカッション

PN03: 医薬品安全パネル討論会

11:00-12:00 テーマ: 小児薬物療法の落とし穴
(オルガナイザー) 大谷 道輝、佐々木研究所附属杏雲堂病院

1. 「小児処方設計の落とし穴」
国立成育医療研究センター 薬剤部 石井真理子
2. 「散剤の落とし穴」
杏雲堂病院 薬剤科 大谷道輝
3. 「坐剤の落とし穴」
東京通信病院 薬剤部 高尾斎昭

ディスカッション

12:10-12:40 定例代議員大会

(第3会場) 2018年2月17日(土)午後
東京大学法文1号館1階21番講堂

SP01: 特別講演 13:00-13:40 テーマ: 高信頼性組織のマネジメント
吉野 直人: 松山大学経営学部

SP02: 特別講演 13:40-14:00
テーマ: 医療安全における患者とホスピタリストの自助互助共助公助の視点についての提言
星 真哉: 長寿包括ケアクリニック

〈市民と作る医療事故調査ネットワーク〉

PN04: 医療安全クライシスガバナンスパネル討論会

14:00-15:45 テーマ: 私たちなぜ、提訴したのか、提訴しなかったのか
～医療者に知ってほしいオネストトーキングの重要性～
(オルガナイザー) 勝村久司、医療情報の公開・開示を求める市民の会

- | | |
|----------------------|-------------------|
| ・医療事故に直面した家族の群像 | 宮脇 正和 (医療過誤原告会) |
| ・私が提訴した理由 | 春木 聰 (医療過誤原告の会) |
| ・医療事故と体験から医療者に伝えたいこと | 川田 綾子 (医療の良心を守る会) |
| ・患者側の弁護士として感じていること | 木下 正一郎 (医療問題弁護団) |
| ディスカッション | |

PN05: 医療安全クライシスマネジメントパネル討論会

15:45-17:30 テーマ: 医療事故の調査結果を再発防止にどう生かしていくか
(オルガナイザー) 木下 正一郎、弁護士、医療版事故調査フォーラム

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| ・医療事故調査制度を医療安全に生かしていくために | |
| | 永井 裕之 (患者の視点で医療安全を考える連絡協議会) |
| ・慈恵医大病院の肺がん見落としの教訓と患者の思い | |
| | 宮脇 正和 (医療過誤原告の会) |
| ・母の医療事故死・真実が知りたい | 中島 哲也 (医療過誤原告の会) |
| ・群大病院の事故報告書はなぜ「患者参加型医療」を求めたのか | |
| | 勝村 久司 (群馬大学付属病院 医療事故調査委員会) |
| ディスカッション | |

(第4会場) 2018年2月17日(土)
東京大学法文1号館1階22番講堂

PN06: 臨床安全パネル討論会

10:00-12:00

テーマ: 院内で使用される医療用手袋のパウダーフリー化・ラテックスフリー化

・加硫促進剤フリー化の実装に向けて

—厚生労働省・経済産業省・消費者庁の勧告および米国OEHHS 発がん物質指定を受けて—

(オルガナイザー) 佐々木 育、東京大学医学部人体病理学

医療現場におけるパウダーグローブの危険性

加藤 恭郎 (国保中央病院 緩和ケア科)

ラテックスアレルギー総説

矢上 晶子 (藤田保健衛生大学、坂文種報徳會病院総合アレルギー科)

加硫促進剤などによる手荒れのリスクと対策

伊藤 明子 (ながたクリニック皮膚科、新潟大学皮膚科、
藤田保健衛生大学アレルギー疾患対策医療学)

4大アレルゲンフリー手袋導入と展望

石橋 まゆみ (昭和大学経営戦略情報室、日本手術看護学会、アジア手術看護学会)

ラテックスアレルギーに関する注意喚起—行政府の立場から—

大胡田 純一 (厚生労働省医政局経済科)

医療用手袋の安全性の確保—立法府の立場から—

秋野 公造 (参議院議員)

ディスカッション

(4会場) 2018年2月17日(土)
東京大学法文1号館1階22番講堂

EL03: 教育講演

13:00-14:00 テーマ: エラーを事故にさせないためには
石橋 明 (安全マネジメント研究所所長)

PN07: 医療安全リスクマネージメントパネル討論会

14:00-15:00 テーマ: 医療の安全性や働き方の向上を目指して
(オルガナイザー) 井上 清成 (井上法律事務所)

井上 清成 (井上法律事務所)
伊藤 英一 (新潟県立新発田病院・循環器内科)
佐藤 耕一郎 (岩手県立磐井病院、岩手県立病院医師連合会)
秋山 正史 (医療法人福寿会)
ディスカッション

PN08: 医療安全パネル討論会: 会長提案

15:00-16:30 テーマ: 麻酔と医療安全: 事例検討会
(座長) 佐和 貞治 京都府立医科大学附属病院医療安全管理部・麻酔科

佐和 貞治 (京都府立医科大学附属病院医療安全管理部・麻酔科) : 麻酔と医療安全事例 1
水本 一弘 (和歌山県立医科大学附属病院医療安全推進部・麻酔科) : 麻酔と医療安全事例 2
森山 潔 (杏林大学医学部麻酔科学教室) : 麻酔と医療安全事例 3
ディスカッション

SP03: 特別講演 16:30-17:00 テーマ:

医療事故等で示談解決をした後になって、刑事告訴・行政処分要望・マスコミ報道をされた場合
井上 清成 (井上法律事務所)

SP04: 特別講演 17:00-17:30 テーマ: マスコミの過熱報道の渦中においても医療安全の向上を
井上 清成 (井上法律事務所)

(第6会場) 2018年2月17日(土)
東京大学法文1号館3階26講堂

PN09: 医療安全パネル討論会

10:30-12:00 患者高齢化と医療安全対策

(オーガナイザー) 三上 久美子、横浜市立みなと赤十字病院 医療安全推進課

通院透析施設における高齢透析患者の増加に対する安全対策

土屋 和子 (医療法人眞仁会 久里浜クリニック)

高齢化社会に対して急性期病院のできること その現状と課題

橋本 礼子 (聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 医療安全管理室)

地域へと繋げる医療安全

大原志歩 (神奈川県済生会 横浜市東部病院 医療安全管路室)

ディスカッション

PN10: 医療機器安全パネル討論会

13:00-14:30 テーマ: 医療機器安全管理の実際と課題

(オーガナイザー) 石井 宣大、東京慈恵会医科大学葛飾医療センター臨床工学部

心電図モニターの正しい使用に向けた活動

石井 宣大 (東京慈恵会医科大学葛飾医療センター)

基幹病院における医療機器管理 (院内~在宅まで)

春田 良雄 (公立陶生病院)

単独型救命救急センターにおける医療機器安全管理の現状と課題

多田 健二 (大阪府三島救命救急センター)

輸液・シリンジポンプの当院における適正使用の取り組みについて

石橋 康伸 (独立行政法人国立病院機構埼玉病院)

在宅医療における医療機器の安全管理の実際と課題

阿部 博樹 (医療法人康曜会 プラーナクリニック)

ディスカッション

(第6会場) 2018年2月17日(土)
東京大学法文1号館3階26講堂

PN11: 医療機器安全パネル討論会

14:30-16:00 テーマ: 医療機器の使用環境の整備に関する最新動向と医療機関における対応
(オーガナイザー) 青木 郁香、公益財団法人医療機器センター 医療機器産業研究所

医療現場の電磁環境を考える

～『医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き』を利用して～

井上 宗紀 (地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立西神戸医療センター 臨床工学室)
集中治療室における医療ガス設備の保守管理について

関根 広介 (医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 医療技術部 ME室)

ディスカッション

PN12: 医療機器安全パネル討論会

16:00-17:00 多職種で取り組んだ医療機器ライセンス制度導入 その成果
(オーガナイザー) 金子 恵美子、東京女子医科大学東医療センター 医療安全管理部

輸液ポンプ・シリンジポンプを安全に取り扱うための能力建立

宮崎 歌津枝 (東京女子医科大学病院 医療安全推進室)

輸液ポンプ・シリンジポンプリセンス制度の管理における臨床工学技士の役割

酒井 基弘 (東京女子医科大学病院 医療安全推進室兼務 臨床工学部)

ディスカッション

(第7会場) 2018年2月17日(土)
東京大学法文2号館31番講堂

EL04: 教育講演

10:30-11:00 テーマ: コーチングの医療安全への役割と機能
出江 紳一 (東北大学大学院医学研究科肢体不自由学分野教授)

PN13: 看護安全パネル討論会

11:00-12:00 テーマ: 看護教育課程における医療安全教育の重要性
(オルガナイザー) 藤井 千枝子、慶應義塾大学健康マネジメント研究科・看護医療学部

看護基礎教育と医療安全

伊藤 麻美 (慶應義塾大学看護医療学部)

臨床における医療安全教育

伊地知 淑子 (前東京女子医科大学東医療センターサークル)

組織的なモラルとシナジー

藤井 千枝子 (慶應義塾大学看護医療学部)

ディスカッション

PN14: 看護安全パネル討論会

13:00-14:30 テーマ: 医療安全の視点を踏まえた看護師の患者・家族への対応のあり方
(オルガナイザー) 新村 美佐香、医療法人五星会 菊名記念病院 医療安全

医療安全の視点を踏まえた患者・家族対応とは

新村 美佐香 (医療法人五星会 菊名記念病院 医療安全管理室)

医療安全管理責任者 (看護師) の立場から見た対応のあり方

大野 浩正 (海老名総合病院 安全推進部)

看護管理責任者の立場から見た対応のあり方

土屋 和子 (医療法人眞仁会 久里浜クリニック看護課)

ディスカッション

(第7会場) 2018年2月17日(土)
東京大学法文2号館31番講堂

PN15: 看護安全パネル討論会

14:30-16:00 テーマ: 医療安全における新人看護師のレジリエンスアプローチとしての研修の取り組み
(オルガナイザー) 衣川 さえ子、東京医療保健大学東が丘・立川看護学部母性看護学

レジリエンスアプローチとしての、新人看護師の Non-Technical Skills 研修の実際

岩本 郁子 (東京医療保健大学東が丘・立川看護学部)

新人看護師の Non-Technical Skills 研修の成果

衣川 さえ子 (東京医療保健大学東が丘・立川看護学部)

新人看護師の転倒・転落予防に関わる NTS の現状

木下 美佐子 (福島県立医科大学看護学部)

ディスカッション

PN16: 医療安全リスク/クライシス・マネージメントパネル討論会

16:00-17:30 テーマ: 医療安全管理者的抱える問題とメンタルヘルス
(オルガナイザー) 土屋 和子、医療法人眞仁会 久里浜クリニック

ハイリスク症例支援室の専従看護師として事務局の体験から思うこと

宮崎 歌津枝 (東京女子医科大学病院 医療安全推進室)

院内初の専従医療安全管理者としての戸惑いと覚悟

峰村 尚子 (医療法人愛仁会 太田総合病院)

外来透析クリニックでの安全管理担当者への役割とサポートのあり方を考える

土屋 和子 (医療法人眞仁会 久里浜クリニック)

ディスカッション

(第8会場) 2018年2月17日(土)
東京大学法文1号館3階27番講堂

10:40-11:30 **医療安全情報ネットワーク・セッション(一般演題・口演)**

座長: 富永 英一郎、慶應義塾大学医学部産婦人科学

NA01 呼吸監視システム SafetyNet・NMU モデルの運用

惠川 淳二: 奈良県立医科大学・医療安全推進室

NA02 中小病院におけるセントラルモニタアラーム環境の改善活動

可児 学: 可児とうのう病院

NA03 透析装置のトラブルを表す警報名の表現傾向に関する分析

前田 佳孝: 自治医科大学メディカルシミュレーションセンター

NA04 生理検査部門における緊急対応を要するパニック値とその運用に関する取り組み

小宮山 恭弘、脇 英彦、上田 真喜子: 森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床検査学科

NA05 ベッドサイドでのハンドオフ(申し送り)が情報伝達エラーに及ぼす影響

竹久 志穂: 近畿大学医学部附属病院

11:30-12:00 **医療安全情報クライスマネージメント・セッション(一般演題・口演)**

座長: 永山 正雄、国際国際医療福祉大学医学部神経内科講座

NB01 沖縄県の医療事故調査制度における弁護士の役割

田名 肇: 沖縄県医師会 首里城下町クリニック第一・第二

NB02 急変時対応シミュレーション研修を通して

○西川 三恵子、島元 健次、加戸 聖美、辰巳 陽一:

近畿大学医学部附属病院 安全管理部 医療安全対策室

NB03 災害時における中央管理機器の運用について

○御園恒一郎、片山靖史、佐久間健、別所竜藏: 日本医科大学千葉北総病院・ME部

(第8会場) 2018年2月17日(土)
東京大学法文1号館3階27番講堂

13:00-14:00 医療安全マネージメント/カバナンス・セッション(一般演題・口演)

座長: 三井 良之、近畿大学医学部神経内科

NC01 Safty I から Safty II へ～Good Job Card を用いた医療安全推進活動から見えたもの～

○清水潔※1)2)、 下田知佳※1)、 水本幸之助※1)、 清住雄昭※1)

熊本市医師会 熊本地域医療センター 医療安全推進部※1)

熊本大学大学院社会文化科学研究科 交渉紛争解決学・組織経営学※2)

NC01 現場力向上への取り組み～潜在力を引き出す組織作りを目指して～

和賀 美和: 特定医療法人愛仁会太田総合病院

NC02 医療安全に対する意識の変化～セーフティマネジャーの役割～

塙越 友一: 特定医療法人愛仁会太田総合病院

NC03 現場を知る院内安全巡回の重要性

甲斐 智江: 熊本大学医学部付属病院 医療の質・安全管理部

NC04 石川県立中央病院における医療補助者の医療安全に対する意識調査について

高木純一郎 1) 中野久美子 2) :

石川県立中央病院歯科口腔外科 1) 石川県立中央病院医療安全管理室 2)

NC05 当院における針刺し事故対策の見直し～「針刺し予防の日」研修会を開催して

河瀬留美 1) 落合甲太 1) 加藤陽子 2) : 1) 西淀病院 医療安全管理室 2) 同 感染対策チーム

NC06 A病院での緊急帝王切開における患者誤認防止の取り組み

中村 和也: 社会福祉法人石井記念愛染園付属愛染橋病院

14:00-14:50 医療薬品安全・セッション - その1 (一般演題・口演)

座長: 坂口 真弓、みどり薬局、浅草薬剤師会

ND01 ノンテクニカルスキルの特徴～静脈点滴管理に焦点をあてて～

○吉田 幸枝 1) 衣川さえ子 2) 1)富岡看護専門学校 2)東京保健医療大学東が丘・立川看護学部)

ND02 より良い点滴混注作業手順書の作成～作業手順遂行における環境ごとの検証～

塩野谷 美由紀: IMS グループ本部事務局 看護部

ND03 行動レベルで考えた注射調剤基準作業手順書の効果～エラーが起きにくい作業手順～

横田 佑二: IMS グループ本部事務局 看護部

ND04 点滴ボトル内への薬剤の混注漏れを防ぐための試み

前嶋 洋一郎: 山梨大学医学部附属病院 医療の質・安全

ND05 保険薬局のプレアボイド事例からみたおくすり手帳活用実態

○小野大輔 常見邦順 秋野治郎 櫻井秀彦: 株式会社ファーマホールディング リスク管理室

(第8会場) 2018年2月17日(土)
東京大学法文1号館3階27番講堂

14:50-15:30 **医薬品安全セッション --その2 (一般演題・口演)**

座長: 伊藤 裕康、株式会社 中央薬局

ND06 医療現場における投薬業務のヒューマンエラーシーズ分析

平沼 明史: 慶應義塾大学

ND07 自動車運転に支障のある医薬品の注意喚起 ピクトグラムの有用性に関する検討

福田 八寿絵: 帝京大学医療共通教育研究センター

(発表者の所属大学倫理委員会の審査が遅延のためキャンセルとのこと)

ND08 繰り返し発生している薬剤誤投与死亡・重篤後遺症例での拡大防止・再発防止の検討

—MIMPSを活用した検討—

喜田 裕也: 堀若葉会病院 内科

ND09 薬剤部におけるチェックリストの活用とその効果

島元 健次: 近畿大学医学部附属病院・安全管理部

15:30-16:00 **医療安全クライシス・アセスメントセッション (一般演題・口演)**

座長: 宮本 智行、東京医科歯科大学

NE01 インシデントレポートからのイベント事象抽出による原因と結果の予測(人工心肺事例を中心に)

吉澤伸介 1)、稻積宏誠 2) : 1) 帝京平成大学医療科学科 2) 青山学院大学社会情報学部

NE02 ケースマップ法を用いた医療事故分析

安心院康彦 1, 2、河内正治 1、上野京子 1、鈴木和男 1、西山智子 1、高田真二 1、金子一郎 2、
山内由美子 1、松野彰 1、澤村成史 1、坂本哲也 2.

1. 帝京大学医学部附属病院安全管理部 2. 帝京大学医学部救急医学講座

NE03 Good job レポート導入後の報告

佐伯 公亮: 彦根市立病院医療安全推進室

(第8会場) 2018年2月17日(土)
東京大学法文1号館3階27番講堂

16:00-16:50 **医療安全教育セッション** (一般演題・口演)

座長: 廣井 透雄、国立国際医療センター病院

NF01 新人職員に安全文化を根付かせるための取り組み

早川 百恵: 豊橋ハートセンター 外来看護部 医療安全管理者

NF02 メディカルスタッフへ向けた介助技術講習の効果

二見 健太: 東京女子医科大学病院 リハビリテーション部

NF03 医学部一年生に対する危険予知訓練の実施とその予知傾向

前田佳孝 1), 淺田義和 2), 鈴木義彦 1), 渥美一弥 2), 長谷川剛 3), 河野龍太郎 1)

1) 自治医科大学メディカルシミュレーションセンター,

2) 自治医科大学医学部, 3) 上尾中央総合病院情報管理部

NF04 委託会社スタッフ対象医療安全研修会を開催して

住田 勝: 近江八幡市立総合医療センター 医療安全管理室

NF05 医療安全教育におけるキャリア・パスを考える～新たな医療コミュニティ・デザイン構築の手法～

北野 達也:

星城大学 経営学部 健康マネジメント系 医療マネジメントコース

/星城大学大学院 健康支援学研究科 医療安全管理学

(第9会場) 2018年2月17日(土)11:30~12:30
東京大学法文2号館2階ロビー

座長: 大徳 和之、弘前大学附属病院

ポスター質疑 11:30~12:30

(午前の部) 臨床安全セッション (一般演題・ポスター)

NP101 病理解剖と死後CTにおけるくも膜下出血の診断の乖離とその原因

○阿部 浩幸、白田 剛、池村 雅子、堂本 裕加子、五ノ井 渉、石田 尚利、東田 智彦、
大熊 ひでみ、阿部 修、深山 正久

東京大学医学部附属病院 病理部、同 放射線科、三楽病院 放射線科

NP102 当院の外国籍妊婦の周産期管理におけるコミュニケーション障害

高木 真弥 1)2)、廣井 透雄 2)、矢野 哲 1)
国立国際医療研究センター 1) 産婦人科 2) 医療安全管理室

(午前の部) 医療安全コミュニケーションセッション (一般演題・ポスター)

NP103 新入生の患者安全意識の検討

¹長谷 主帆、²朱 晓人、笠井 健司、笹森 千愛、³大滝 恭弘

¹帝京大学薬学部薬学科 ²帝京大学医学部医学科 ³帝京大学医療共通教育研究センター

NP104 出産にかかる医療事故により児を喪失した女性の次子出産への支援—医師の認識と関連性-

山崎 由美子、加藤 良子: 川崎市立看護短期大学

NP105 血液透析回路準備の技能習得における学習方法別の習熟度の分析

渡邊 晃広、鈴木 聰: 神奈川工科大学 工学部 臨床工学科

NP106 役割遂行能力向上のためのリンクナース育成の取り組み

梅江 のぞみ、永山 サヤ子: 横浜旭中央総合病院 看護部

NP107 業務時間内の医療安全研修を実施して

富田 和代: 久美愛厚生病院・医療安全管理室

NP108 初年次コミュニケーションと多職種連携教育の効果と課題

福田 八寿絵: 帝京大学医療共通教育研究センター

(発表者の所属大学倫理委員会の審査が遅延のためキャンセルとのこと)

(第9会場) 2018年2月17日(土)15:30-16:30
東京大学法文2号館2階ロビー

座長: 蒼野 浩、済生会横浜市東部病院
ポスター質疑 15:30-16:30

(午後の部) 医薬品安全セッション (一般演題・ポスター)

NP201 薬剤部インシデント事例～検証報告 2017

寺山 恵子: 国立病院機構岩国医療センター 薬剤部

NP202 医薬品安全管理責任者として関わった「自動車運転等に影響を及ぼす医薬品の注意喚起」の院内対応統一化について

西村英尚: 羽島市民病院薬剤部

NP203 医薬品に関するインシデントの薬剤師の関わりについて

竹中智子 1) 小野祐志 1) 相澤聰子 1) 宇佐美順子 1) 新家恵子 1)
村田充弘 1) 西川晃代 2) 中上紀子 2)

市立豊中病院 薬剤部 1) 医療安全管理室 2)

NP204 抗精神病薬の単剤化～精神医療の質のクリニカルインジケータ

猪俣 晃一: 独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター 内科・臨床検査科医師

NP205 より安全な医薬品の使用を目指して 一リスクを見つける・防ぐ・伝える一

長塚 元子: 済生会熊本病院薬剤部

NP206 ICUにおける担当薬剤師による医療事故防止の取り組み

明石岩雄 山本律子 影山明 加藤潤一郎 川久保孝 瀧浪将典
東京慈恵会医科大学附属病院

第3回日本医療安全学会学術総会

(第2日目プログラム)

2016年2月18日(日)

受付: 8:00～17:00 法文1号館1階ロビー

会場:

第1会場	法文1号館1階	ロビー : 受付、企業展示、
第2会場	法文1号館2階	ロビー : 企業展示
第3会場	法文1号館1階	21番講堂: 講演
第4会場	法文1号館1階	22番講堂: 講演
第5会場	法文1号館2階	25番講堂: 講演
第6会場	法文1号館3階	26番講堂: 講演
第7会場	法文2号館2階	31番講堂: 講演
第8会場	法文1号館3階	27番講堂: 一般演題口演
第9会場	法文2号館2階	ロビー : 一般演題ポスター発表、企業展示
第11会場	医学部1号館1階小講義室:	自由集会室(自由にご利用ください)
第12会場	医学部1号館3階大講義室:	自由集会室(自由にご利用ください)
第13会場	医学部2号館本館1階小講義室:	発表者控え室(自由にご利用ください)
第14会場	医学部2号館本館3階大講義室:	談話室(自由にご利用ください)

◎付きのプログラムは総括医療安全管理者も対象としています。

(第5会場) 2018年2月18日(日)午前
東京大学法文1号館 25番講堂

PL02: 総会共同会長 講演 (その3)

9:00-9:30 座長: 藤井 千枝子、慶應義塾大学看護医療学部

深山 治久 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科麻醉・生体管理学分野教授)

IL04: 招聘講演

9:30-10:30 座長: 衣川 さえ子、東京医療保健大学東が丘・立川看護学部

テーマ: 転倒予防のスマートな取り組み方

武藤 芳照 (日本転倒予防学会理事長、東京大学名誉教授、日体大総合研究所所長)

IL05: 招聘講演

◎10:30-11:30 座長: 佐和 貞治、京都府立医科大学

テーマ: IoT(物と情報のネットワーク)の安全分野への導入における基本的考え方
後藤 厚宏 (情報セキュリティ大学院大学学長)

EL05: 教育講演 13:00-14:00 テーマ: 検査業務の安全管理

海渡 健 (東京慈恵会医科大学附属病院医療安全推進室室長、中央検査部教授)

(第5会場) 2018年2月18日(日)午後
東京大学法文1号館 25番講堂

EL06: 教育講演

14:00-15:00 テーマ: ヒューマンファクターのスマートな進め方
小松原 明哲 (早稲田大学理工学部教授)

◎SN02: シンポジウム 医療安全政策

◎15:00-16:30 医療安全のための公共政策のあり方

(オルガナイザー) 井上 清成、健康保険法改正研究会共同代表、弁護士

井上 清成 (健康保険法改正研究会共同代表、弁護士)
橋本 岳 (衆議院議員・自由民主党〔厚生労働部会長〕、前厚生労働副大臣)
秋野 公造 (参議院議員・公明党、医師)
阿部 知子 (衆議院議員・立憲民主党、医師)
小池 晃 (参議院議員・日本共産党、医師)
中島 克仁 (衆議院議員・無所属、医師)
大竹 進 (健康保険法改正研究会副代表、医師)
総合討論

IL06: 招聘講演

◎16:30-17:30 座長: 白川 哲夫、日本大学歯学部小児歯科

テーマ: 人工知能(AI)による医療と安全の向上の事例紹介
北原 茂実 (医療法人北原国際病院理事長)

(第3会場) 2018年2月18日(日)
東京大学法文1号館1階21番講堂

PN17: 歯科安全パネル討論会: 会長提案

10:00-11:00 テーマ: 歯科医療者の医療安全 — 医療者の立ち位置 —
(オルガナイザー) 深山 治久、東京医科歯科大学大学院麻酔・生体管理学

酒巻裕之 (千葉県立保健医療大学健康科学部)

茂木美保 (住友商事株式会社歯科診療所、東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科)

松原 恒 (東京医科歯科大学歯学部附属病院歯科技工部)

ディスカッション

PN18: 臨床安全パネル討論会: 会長提案

13:00-14:30 テーマ: 手術・麻酔とインフォームド・コンセント
(座長) 佐和 貞治、京都府立医科大学附属病院医療安全管理部・麻酔科

インフォームドコンセントの問題点

水本 一弘 (和歌山県立医科大学附属病院医療安全推進部・麻酔科)

インフォームドコンセントの現状 森山 潔 (杏林大学麻酔科学教室)

手術が関わるインフォームドコンセントの院内整備と問題点

大澤 智美 (京都府立医科大学附属病院医療安全管理部)

ディスカッション

PN19: 医療安全リスクコミュニケーションパネル討論会

14:30-16:00 テーマ: チーム STEPPS basic の向こう側 -チーム STEPPS の次なる活かし方-
(オルガナイザー) 辰巳 陽一、近畿大学付属病院医療安全管理部

樋口 敦子 (立川メディカルセンター本部)

荒井 有美 (北里大学病院 医療の質・安全推進室)

辰巳 陽一 (近畿大学医学部 安全管理部)

ディスカッション

SP05: 特別講演:

16:00-16:30 テーマ: チーム医療に欠かせない安全な『場』を創るコミュニケーションとは?
北野 達也、星城大学経営学部健康マネジメント系医療マネジメントコース

(第4会場) 2018年2月18日(日)
東京大学法文1号館1階22番講堂

SN03: ビジョン・シンポジウム

9:40-12:10 テーマ: 医療安全活動の今後の課題と展望

座長: 酒井 亮二、日本医療安全学会理事長

シンポジスト 一人20分

水本 一弘 (和歌山県立医科大学医療安全推進部)
廣井 透雄 (国立国際医療センター病院医療安全室)
秋野 裕信 (福井大学附属病院医療安全管理部)
金子 恵美子 (東京女子医科大学 東医療センター医療安全対策部)
手塚 則明 (東北医科大学医療安全部)
遠藤 純男 (横浜新緑総合病院医療安全管理室)
楠本 茂雅 (ベルランド総合病院医療安全管理室)

ディスカッション 10分

EL07: 教育講演 13:00-13:45 テーマ: 判例にみるインフォームドコンセントの変遷と課題
井上 清成 (弁護士)

EL08: 教育講演 ◎ 13:45-14:30 テーマ: 医療事故に関する判例の過去の傾向について
井上 清成 (弁護士)

PN20: 医療安全クライシスマネジメントパネル討論会

14:30-16:00 テーマ: クローズドクレームの分析成果とその利用-活動報告を交えて
(オルガナイザー) 大滝 恭弘、帝京大学医療共通教育研究センター

大山 泰明 (損保ジャパン日本興亜株式会社 医師賠償保険金サービス課)
福原 正和 (森山経営法律事務所)
吉田 智彦 (世田谷リウマチ膠原病クリニック)
大滝 恭弘 (帝京大学医療共通教育研究センター)

ディスカッション

(第6会場) 2018年2月18日(日)
東京大学法文1号館3階26講堂

◎PN21: 医療安全クライシス・ガバナンスパネル討論会

10:30-12:00 テーマ: 医療事故調査制度に関する医療現場での現状と課題
(オルガナイザー) 新村 美佐香、菊名記念病院

辰巳 陽一 (近畿大学医学部 安全管理部)
新村 美佐香 (医療法人五星会菊名記念病院医療安全管理室)
大野 浩正、海老名総合病院安全推進部医療安全対策室
ディスカッション

PN22: 医療安全クライシスマネージメントパネル討論会

13:00-14:30 テーマ: 事象発生後対応管理 (PARM) 教育・研修
(オーガナイザー) 永山 正雄、国際医療福祉大学

基調講演 (30分) 事象発生後対応管理 (PARM) 教育・研修
永山 正雄 (国際医療福祉大学医学部神経内科学)

事象発生後対応管理 (PARM) コース研修の実際: デモ実演
横山 直司 (国際医療福祉大学熱海病院看護部)

当院における事象発生後対応管理 (PARM) 研修～動画教材を使用して～
堀田 まゆみ (東海大学医学部付属大磯病院看護部)

当院での事象発生後対応管理 (PARM) 研修の取り組みについて
遠藤 純男 (横浜新緑総合病院脳神経センター、同医療安全管理室)

事象発生後対応管理 (PARM) を用いた院内急変に対する実践と効果
河野 由江1, 星山 栄成2,3, 鈴木 佳世子1, 山口 剛史4, 辰元 宗人1,2,
仁戸部 富恵5, 平田 幸一2, 窪田 敬一1,6
獨協医科大学 1. 医療安全推進センター、2. 神経内科、3. 救命救急センター、
4. 臨床工学部、5. 看護部、6. 第二外科
ディスカッション

(第6会場) 2018年2月18日(日)
東京大学法文1号館3階26講堂

PN23: 臨床安全パネル討論会

14:30-16:30 テーマ: 医療安全から見た甲状腺・副甲状腺手術における術後出血
～その緊急性と対応方法を広く知つてもらうために～

(オルガナイザー) 福島 光浩、神甲会 限病院外科
福成 信博、昭和大学横浜市北部病院外科系診療センター

オーバービュー: 甲状腺・副甲状腺手術における術後出血～医療安全調査機構警鐘事例から～
福島 光浩 (限病院 外科)

甲状腺手術後合併症への対策法とスタッフ教育

西川徹、福成信博、中野賢英、坂上聰志、相田貞継
昭和大学横浜市北部病院 外科系診療センター 外科

甲状腺手術の術後出血に対する緊急開創について

北川 亘¹、伊藤 由希子²、二階堂 名奈²、大島 由美²、石澤 緑²、伊藤 公一¹
1) 伊藤病院外科 1) 伊藤病院看護部 2)

甲状腺手術の術後出血事故防止のための当院のガイドライン

森田 理恵¹、福原 隆宏²
1. 鳥取大学医学部附属病院 看護部、耳鼻咽喉・頭頸部外科病棟
2. 鳥取大学医学部附属病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科

甲状腺・副甲状腺手術における術後出血に対する管理と対策

福甲会 やました甲状腺病院
○森 祐輔、橘 正剛、横井忠郎、佐藤伸也、進藤久和、高橋 広、山下弘幸

頸部術後出血を想定した緊急再手術訓練

～アクションカードを使用したシミュレーショントレーニング～
瀬戸 佳世 (野口記念会 野口病院 看護科)

甲状腺・副甲状腺手術の退院後に術後出血を発症した症例の検討

～電話での問い合わせで迅速的確な対応をとるために～
新田早苗¹、福島光浩²、木村 操³、安東夕紀³、佐谷かおり³、山本正利²、小田 瞳²、
笹井久徳⁴、舛岡裕雄²、東山卓也²、木原 実²、宮 章博²、宮内 昭²
限病院 看護本部長/安全管理者¹、外科²、外来看護科³、頭頸部外科⁴

ディスカッション

(第7会場) 2018年2月18日(日)

東京大学法文2号館31番講堂

PN24: 医薬品安全特別セッション 9:00-9:30

座長: 大谷 道輝、佐々木研究所附属杏雲堂病院

遺伝子組み換え医薬品の安全性とその瑕疵

生物医薬品の安全性は本当に担保されているか?

異常型プリオントロフィン蛋白質で汚染された医薬品

コーデジネイトの安全性等に関する国会での政府厚生労省の虚偽答弁は重大なミスである

以上の演題の発表者は以下です。

林 一雄: 有限会社 ビー・イー・エス・ティー

PN25: 医薬品安全管理パネル討論会

9:30-10:30 テーマ 薬学的視点に基づく医療安全への貢献

(オルガナイザー) 百 賢二、帝京平成大学薬学部

1. 医薬品外観類似データベースの構築と有用性評価

百 賢二 (帝京平成大学薬学部)

2. 入院患者に関する薬学的管理の実際

城田 幹生 (東京都立医療公社大久保病院薬剤科)

3. 見逃されやすい、医薬品と医療材料の相互作用について

安 武夫 (東京大学医科学研究所附属病院薬剤部)

ディスカッション

(第7会場) 2018年2月18日(日)

東京大学法文2号館31番講堂

PN26: 医薬品安全管理パネル討論会

10:30-12:00 テーマ 医療安全に貢献する薬剤師～薬剤師が繋ぐ医療連携～
(オルガナイザー) 生島 五郎、松戸市立総合医療センター

1. 院外処方箋の問い合わせに関するトレーシングレポートの活用
木村 敦 (社会医療法人社団木下会 千葉西総合病院 薬剤部)
2. 薬局と診療所との連携～早期認知症への対応～
吉田 貴行 (ファーコス薬局常盤平店)
3. 医療連携を考えた院外処方箋への検査値記載とその効果について
生島 五郎 (松戸市立総合医療センター 薬局)
ディスカッション

(第7会場) 2018年2月18日(日)

東京大学法文2号館31番講堂

PN27: 看護安全分野パネル討論会

13:00-14:00

テーマ: 医療安全管理者的院内ネットワーク作りの必要性と課題

(オルガナイザー) 金子 恵美子、東京女子医科大学東医療センター 医療安全管理部

目標の実現に向けた医療現場との連携～医療安全管理者として10年の経験から～

藤原 喜美子 (東京慈恵会医科大学葛飾医療センター)

医療安全推進の合言葉は多職種協働とチーム力！

峰村 尚子 (医療法人愛仁会 太田総合病院)

ディスカッション

PN28: 看護安全分野パネル討論会

14:00-15:30 テーマ: 医療安全管理者の育成に関する問題点と今後取り組むべきこと

(オルガナイザー) 三上 久美子、横浜市立みなと赤十字病院 医療安全推進課

医療安全管理室の育成に向けて～看護部 MRM 委員会での取り組み～

堀田まゆみ (東海大学医学部付属大磯病院 看護部)

医療安全管理者の任期のあり方

新村 美佐香 (医療法人五星会 菊名記念病院 医療安全管理室)

医療安全管理者を支える組織的サポート

三上 久美子 (横浜市立みなと赤十字病院 医療安全推進課)

ディスカッション

(第7会場) 2018年2月18日(日)

東京大学法文2号館31番講堂

PN29: 看護安全分野パネル討論会

15:30-17:00 テーマ: 医療安全管理者間の連携強化のための院外ネットワーク作りの現状

(オルガナイザー) 新村 美佐香、医療法人五星会 菊名記念病院 医療安全管理室

施設を超えた医療安全管理者のネットワークの必要性

新村 美佐香 (医療法人五星会 菊名記念病院 医療安全管理室)

医療安全管理者との連携による教育への還元

藤井 千枝子 (慶應義塾大学看護医療学部)

これからの医療安全に有効な院外ネットワークを考える

金子 恵美子 (東京女子医科大学東医療センター 医療安全管理部)

ディスカッション

(第8場) 2018年2月18日(日)
東京大学法文1号館3階27番講堂

10:40-12:00 医療安全コミュニケーションセッション (一般演題・口演)

座長: 三上 久美子、横浜市立みなと赤十字病院 医療安全推進課
堀田 まゆみ、東海大学医学部付属大磯病院

NG01 組織トランスポーダー型患者相談窓口チームの活動

平井 理心: 筑波大学附属病院

NG02 医療安全管理研修における医療メディエーションの効果 ～病院職員の意識調査から～

吉田 和子: 医療法人沖縄徳洲会 武蔵野徳洲会病院・医療安全管理室

NG03 患者安全をめざした研修による Team STEPPS 導入と限界

青江 基: 香川県立中央病院・外科

NG04 TeamSTEPPS ツール SBAR を活用した医療機器点検依頼票の運用について

高橋光太 1)、渡邊拓也 1)、菅原洋一 1)、石川尚生 1)、伊藤裕太 1)

岩谷理恵子 1)、平塚明倫 1)、海渡健 2)

1 東京慈恵会医科大学附属病院 臨床工学部

2 東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部

NG05 TeamSTEPPS を活用したマナー向上への取り組み

岩谷理恵子 1)、児島徹 1)、渡邊拓也 1)、佐々木雄一 1)、菅原洋一 1)

川崎淳一 1)、渡邊尚 1)、平塚明倫 1)、海渡健 2)

1) 東京慈恵会医科大学附属病院 臨床工学部、2) 同 医療安全管理部

NG06 臨床工学技士の宿直における TeamSTEPPS を活用した申し送り方法の改善が宿直者のストレス状況に与える影響について

渡邊拓也 1)、菅原洋一 1)、石川尚生 1)、高橋光太 1)、伊藤裕太 1)、

岩谷理恵子 1)、平塚明倫 1)、海渡健 2)

東京慈恵会医科大学附属病院 臨床工学部 1)、同 医療安全管理部 2)

NG07 人工呼吸器装着患者の院内搬送における TeamSTEPPS の活用について

井上愛 1)、池田潤平 1)、渡邊拓也 1)、渡邊尚 1)、岩谷理恵子 1)

平塚明倫 1)、瀧浪将典 2)、海渡健 3)

東京慈恵会医科大学附属病院 臨床工学部 1)、同 集中治療部 2)、同 医療安全管理部 3)

NG08 TeamSTEPPS を活用した臨床工学技士の宿直における情報伝達向上への取り組み

菅原洋一 1)、渡邊拓也 1)、石川尚生 1)、高橋光太 1)、伊藤裕太 1)

岩谷理恵子 1)、平塚明倫 1)、海渡健 2)

東京慈恵会医科大学附属病院 臨床工学部 1)、同 医療安全管理部 2)

(第8場) 2018年2月18日(日)
東京大学法文1号館3階27番講堂

13:00-13:50 転倒・転落セッション (一般演題・口演)

座長: 大野 和子、京都医療科学大学・医療科学部

NH01 認知症患者の移動形態と生活行為に基づく転倒転落対策フロー チャートの作成

岡澤 学: 医療法人花咲会 かわさき記念病院 リハビリテーション科

NH02 転倒・転落防止活動への支援に関する検討

山本 智史: IMS グループ本部事務局 看護部

NH03 当院における転倒・転落レベル3b以上の傾向と今後の課題

古沢 由果1)、三浦 美智枝1)、菅原 健太郎2)、前島 愛子2)、高見沢 勝3)

社会医療法人 さいたま市民医療センター

1) 医療安全管理室、2) 診療技術部、3) 診療部

NH04 転倒転落予防強化月間7年間の活動報告

三浦美智枝1) 古沢由果1) 菅原健太郎2) 前島愛子2)

永田恒昭3) 藤田魔邪4) 小林敏枝4) 小堀桂5)

社会医療法人 さいたま市民医療センター 1) 医療安全管理室

2) リハビリテーション科 3) 放射線科 4) 看護部 5) 事務部

NH05 センサーマットの動作履歴を組み入れた新しい転倒リスクスコアの開発

荏原 太: 医) すこやか 高田中央病院 病院管理部医師

(第8場) 2018年2月18日(日)
東京大学法文1号館3階27番講堂

13:50-15:00 臨床安全セッション (一般演題・口演)

座長: 坂井 信幸、神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科

NI01 事故のない術中MRI手術を safety I およびII の視点から検討する

種井 隆文: 名古屋セントラル病院・脳神経外科

NI02 画像診断所見確認システムの導入

近本 亮: 熊本大学 医療の質・安全管理部

NI03 脳神経外科領域における周術期感染の現状 -医療安全の観点を含めて-

中山 晴雄: 東邦大学医療センター大橋病院院内感染対策室

NI04 血糖パニック値における適切機能の検討

池田 万葉: 湘南鎌倉総合病院 医療安全管理室

NI05 A病院のCCUにおける大動脈解離(Stanford B)患者のせん妄発症の実態調査

～せん妄対策予防後の実態調査～

桐本 ますみ: 大阪労災病院

NI06 CTによる遺残縫合針検出の限界について

佐藤 順一, 今野 真都佳, 北川 佳奈子, 林 達哉, 大崎 能伸

旭川医科大学病院放射線部, 同医療安全管理部

NI07 胸部X線画像処理および検出支援ソフトによる結節影検出の可能性

高井 雄二郎 1)、島田 豊 2)、渡邊 正志 3)

東邦大学医療センター大森病院 1. 呼吸器内科、2. 放射線部、3. 医療安全管理部

(第8場) 2018年2月18日(日)
東京大学法文1号館3階27番講堂

15:00-16:20 **医療安全リスク/クライシス・アセスメント・セッション (一般演題・口演)**

座長: 太田 美智男、名古屋大学医学部

NJ01 臨床医から求められる医療安全の推進方法

児玉 貴光: 愛知医科大学病院 医療安全管理室

NJ02 今さらですがインシデントレポートに思う

浅岡 峰雄: 岡崎市民病院 医療安全管理室

NJ03 重症患者における窒息・誤嚥のリスク因子

大洞 佳代子、加戸 聖美、西川 三恵子、島元 健次、辰巳 陽一
近畿大学医学部附属病院 医療安全対策室

NJ04 拡張FRAMモデルと統計モデルによるリスク管理手法の提案

～小規模事業所のリスク管理解説～

神崎 美佐子 荒関 仁志: 日本大学大学院総合社会情報研究科

NJ05 医療機器における医療安全への取り組み

川上 千晶、塚本 伶央奈、山田 文哉: 愛媛大学医学部附属病院 ME機器センター

NJ06 失敗から学ぶ環境つくり ～パフォーマンス向上のための協働活動

上中 香代子: 産業医科大学病院 看護部

NJ07 ME機器センター部門におけるインシデント・アクシデント報告の分析

大塚 勝二1)、原田 俊和1)、山本 達郎1)、近本 亮2)

1) 熊本大学医学部附属病院 ME機器センター

2) 熊本大学医学部附属病院 医療安全管理部

NJ08 2年間の外来死亡全事例の検討 ～心肺蘇生中止・終了についての家族の意思確認を中心に～

田上鑑一郎、吉田昌弘、杉本明子: 愛知県厚生連 渥美病院 医療安全管理室

(第9会場) 2018年2月18日(日) 11:30-12:30

東京大学法文2号館2階ロビー

座長: 小林 肇、東京フェリシアレディースクリニック
ポスター質疑 11:30-12:30

(午前の部) 医療安全リスクマネージメント・セッション (一般演題・ポスター)

NP301 医療現場における、レビューション向上のための医療安全支援システムの構築

木村 佳奈: 慶應義塾大学理工学部管理工学科岡田研究室

NP302 患者間違いゼロを目指して ~バーコード認証率100%を阻む要因~

渡慶次 裕美: 社会医療法人 友愛会 豊見城中央病院

NP303 バーコード認証導入後に報告された母乳取り違えに関するインシデントの分析

○杉村 花苗、由利 伸也: 函館中央病院 NICU・GCU

NP304 採血業務におけるインシデント防止対策

月居 茉莉子、小渕 淳樹、原 美奈子、手金 あけみ、林 規隆、重田 曜

北里大学北里研究所病院診療技術部臨床検査科

NP305 患者誤認減少のための取り組み

川島 章子: 都立大塚病院リスクマネジメント看護分科会

NP306 血液培養オーダー件数の「適切さの指標」設定についての考察

猪俣 晃一、山崎 正明、浦沢昌恵: 独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター

NP307 消化器外科手術を受ける高齢患者の安全対策～術後口腔ケアとせん妄の関連性～

竹下 みのり 丸岡 陽子 小平 美楓: 神奈川県立足柄上病院

NP308 歯科外来小手術の器材在庫管理の検討

高木 純一郎: 石川県立中央病院歯科口腔外科

(第9会場) 2018年2月18日(日) 15:30-16:30
東京大学法文2号館2階ロビー

座長: 西隈 菜穂子、近畿大学医学部奈良病院

ポスター質疑 15:30-16:30

(午後の部) **転倒・転落セッション (一般演題・ポスター)**

NP401 精神科病棟における転倒予防の取り組み

大西 由希子: 京都大学医学部付属病院・看護部

NP402 多職種合同転倒転落予防チームの活動終了による影響について

榎本 陽介: 医療法人社団誠馨会 セコメディック病院

NP403 発生要因からみた転倒・転落の分析

河野 由江: 獨協医科大学病院 医療安全推進センター

NP404 転倒・転落防止への取組み ～飲食店でよく聞く「はい、喜んで！」精神を医療の現場にも～

上運天 小百合 新崎 修: 社会医療法人 友愛会 豊見城中央病院

NP405 当院における外来通院がん患者の転倒・転落の要因検討

西村 聖子: 愛知県がんセンター中央病院 看護部

NP406 転倒転落防止を目的とした離床センサー機能付きベッドの設置・設定基準の作成

～消化器・血液内科病棟の特性を踏まえて～

谷口 加菜: 滋賀医科大学医学部付属病院 看護部

NP407 老年期医療混合病棟における転倒転落患者のインシデントレポートからの実態調査

青木 友里: 東北大学病院西 15階病棟看護師

次期学術総会の開催

第5回日本医療安全学会学術総会

会期: 2019年2月から3月の土日2日間

会場: 東京大学本郷キャンパスの予定

共同総会長:

松村 由美、京都大学医学部付属病院医療安全管理部教授

岡田 有策、慶應義塾大学理工学部管理工学科ヒューマンファクター研究室教授

衣川 さえ子、東京医療保健大学東が丘・立川看護学部教授

一般社団法人 日本医療安全学会のホームページ

<http://www.jpscs.org/>

第4回日本医療安全学会学術総会事務局

一般社団法人 日本医療安全学会本部内

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102

TEL/FAX: 03-3817-6770

Email: 4amt@jpscs.org